



現代のモバイルワーカー

データセキュリティを危険にさらすことなく、生産性を確保

現代のモバイルワーカーの仕事は、もはや場所や時間による制限を受けることはありません。モバイルコンピュータ、ワイヤレスネットワーク、常時利用可能なオンラインサービスにより、いつでもどこでもいつでも仕事ができます。

現代の IT 部門のマネージャーにとって、この作業方法は新たな課題と新たな機会となります。現代のモバイルワーカーのための IT サービスは、オンデマンドでパブリックネットワークへのアクセスを確保し、ユーザーに自分で管理できる余地を持たせる必要があります。

1. ON-DEMAND SERVICES

オンデマンドサービスは生産にかかわる労働者にとって重要です。ニーズが変化したり、新しいリソースが必要な場合、オンデマンドサービスを使用すれば無駄な時間と混乱を排除できます。デジタルサービスは、その特性により、ソフトウェアのインストール、オンラインサービス、デバイス構成、リソースのダウンロードといった、オンデマンド展開に適しています。

物理的なサービスも、キーボード、マウス、新品の電池、プリンタのトナーなど、オンデマンドアクセスと同じく有用です。完全なオンデマンドの IT サービス文化の生産性のメリットと比べて、誤ったリソースにかかりうる潜在的なコストはわずかです。

Apple は App Store と小売店舗で優れた手本を示しています。IT マネージャーは社内のオンデマンドサービスカタログに従って、設備の配備を行うことができます。

2. セキュリティ

IT マネージャにとって、セキュリティは悩ませ続けられる課題です。モバイルワーカーは、信頼されていないパブリックなネットワークを使用することから、課題を拡大しています。仕事は家庭、空港、ホテル、そして無線ネットワークが見つかる場所なら、どこでもできます。

ネットワークを信頼できないため、セキュリティポリシーではエンドポイント（休止中のデータ）とネットワークトラフィック（転送中のデータ）の確保に重点を置く必要があります。Apple は、ユーザーの操作性に影響を与えることなく、現代のモバイルワーカーにとって最高のセキュリティコントロールを提供していることは間違いありません。


3. 自己管理

IT サービスの哲学として、自己管理は、生産性と従業員満足度を向上させます。細かいことにまで口出しするボスに向けられるものと同じ不満は、コンピュータの操作を細かく管理しようとする IT マネージャにも向けられます。

ユーザー本人よりも、ユーザーのニーズを分かる IT 管理者はいません。ユーザー自立の企業文化は、IT サービスドメインを超えて生産性向上を促進します。権限を付与されていると感じる労働者は、仕事に積極的に取り組む可能性が高く、仕事での生産性が高まります。

Apple のネイティブセキュリティコントロールは、使いやすさを考慮して設計されており、一度設定したあとは、ユーザーから必要となるインプットは最小限に抑えられています。

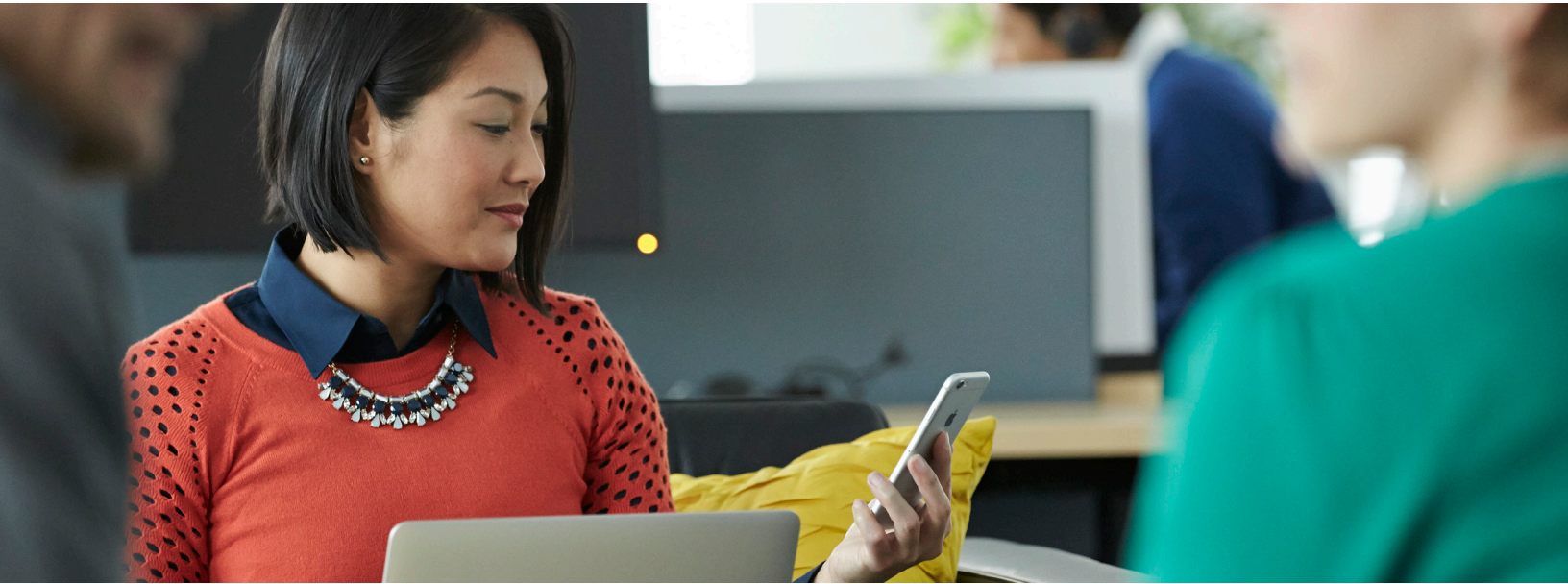
これは、個人や中小企業にとって理想的です。大規模な組織では、セキュリティ構成を設定、展開、監査するために、リモート管理ツールが不可欠です。



仕事は家庭、空港、ホテル、そして無線ネットワークが見つかる場所なら、どこでもできます。

3 つすべてを叶える MDM ソリューション

Jamf の Jamf Pro は、Apple のプラットフォーム用に構築されており、すべてのネイティブの Apple セキュリティコントロールと統合されています。また、展開ツール、構成ツール、動的なインベントリ収集、監査と修復機能を備えています。



結論

このような、新しく現代的なモバイルワーカーをサポートするために、現代の IT 組織には、Jamf の Jamf Pro など、ニーズに合わせて特別に構築されたデバイス管理ソリューションが必要です。そのセルフサービスアプリケーションにより、Mac、iPhone、iPad 用の内部 IT サービスカタログを簡単に提供できるようにします。Apple プラットフォーム用に開発されているため、モバイルワーカー向けに暗号化や VPN などのネイティブセキュリティコントロールを実装できます。また、柔軟な管理フレームワークにより、あらゆるビジネスのニーズや目標に合うよう、全ユーザーの自己管理を可能にします。



www.jamf.com

© 2002-2017 Jamf, LLC. All rights reserved.

Jamf ProがMacとiOSの管理に与える影響の詳細については、jamf.comをご覧ください。